

NET119

緊急通報システム

～通報方法～

Ver 1.1.1

聴覚、音声機能または言語機能の障がいのある方を対象とした緊急通報システムです



急病やケガのとき



火災のとき

NET119とは

NET119は、携帯電話やスマートフォンからインターネットを利用して119番通報を行うことができるサービスです。

NET119 2.0 は、聴覚・言語機能に障がいがあるなど音声による通話が困難な方が、スマートフォン等により、いつでも全国どこからでも通報場所を管轄する消防本部へ音声によらない通報をできるようにするため、従来のNET119を発展させ、異なる事業者間で接続可能となるよう定められた仕様です。

利用対象者

NET119 緊急通報システムは、事前登録制のサービスです。利用対象者は、原則としてNET119 緊急通報システムによる通報を受理する消防本部等の管轄地域内に在住する、文字情報等による意思疎通が可能な聴覚・言語機能障がい者(身体障害者手帳が交付されている、または音声電話による緊急通報が困難であると消防本部が認めた方)となります。

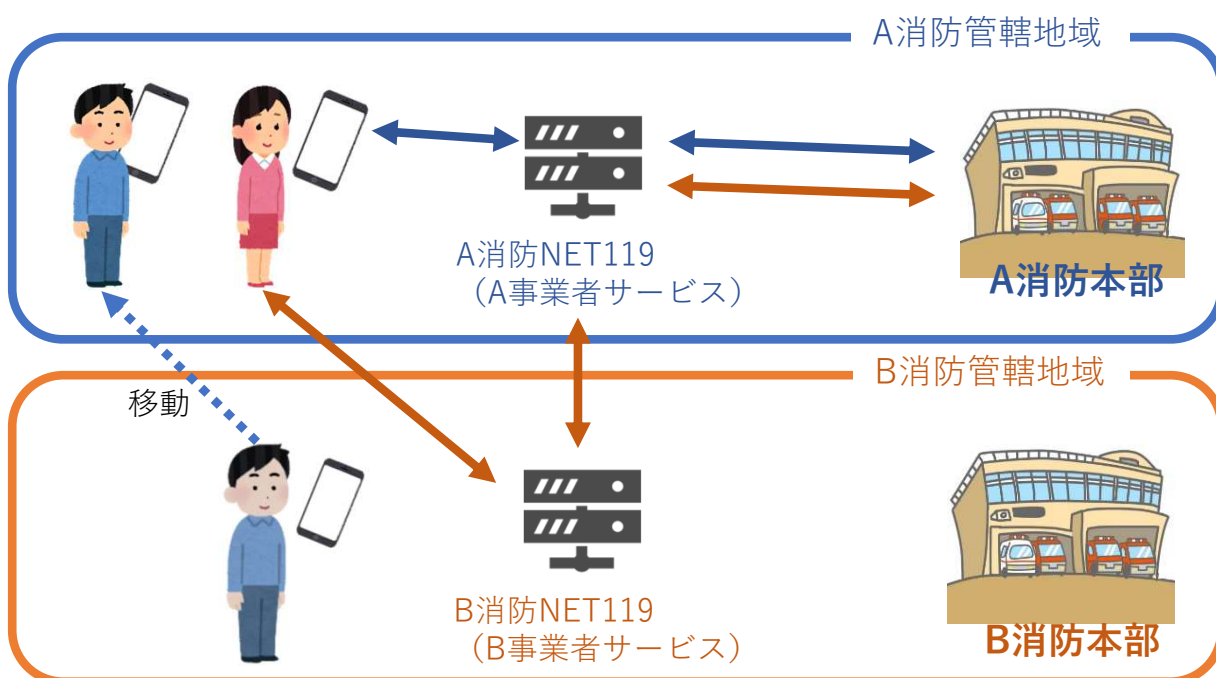


通報の流れ

NET119では、緊急時に携帯電話やスマートフォンからインターネット回線を経由して、消防本部に通報することができます。



管轄地域外から通報した場合でも、NET119番通報システム導入済みの地域であれば、サービス提供事業者に関係なく、緊急通報を、管轄する消防本部に通報できます。



スマートフォン・携帯電話の対応機種

下記要件を満たすスマートフォン・タブレット・フィーチャーフォンからサービスの利用が可能です。

- ・ インターネットサービスの利用ができること
※以下のブラウザを推奨しております。
GoogleChrome (Android) 、 Safari (iOS)
- ・ メールサービスが利用できること
※@の直前又は先頭にピリオドやハイフンなどの記号があるアドレス (****. @〇〇.ne.jp) や、ピリオドやハイフンなどの記号が連続しているアドレス (**...***@〇〇.ne.jp) は使用できません。
- ・ GPS機能が付いていること

【スマートフォン・タブレットの場合】

- ・ OSのバージョンが、Android (5.0以降) 、 iOS (9.0以降) であること

【フィーチャーフォンの場合】

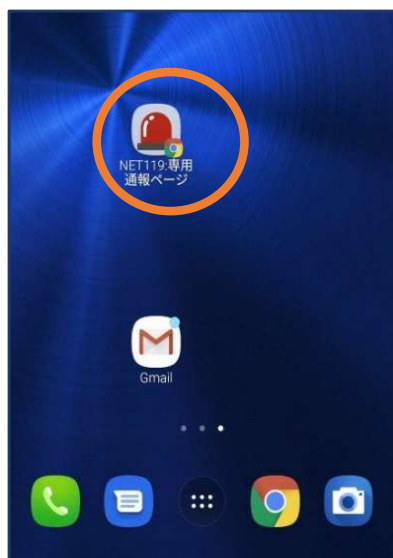
- ・ SHA-2証明書に対応していること
- ・ cookieに対応していること

通報方法

①通報

ホーム画面またはブックマークから通報画面を表示します。

ホーム画面から表示する場合



①ホーム画面のアイコンをタップします。



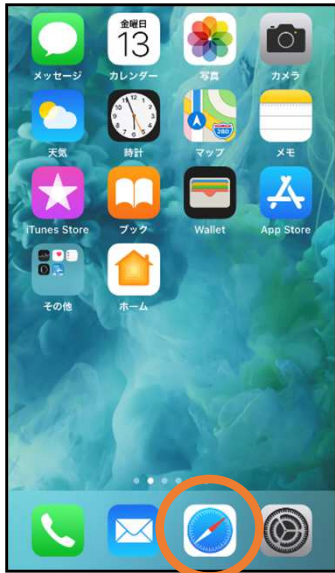
②「通報画面へ」をタップします。



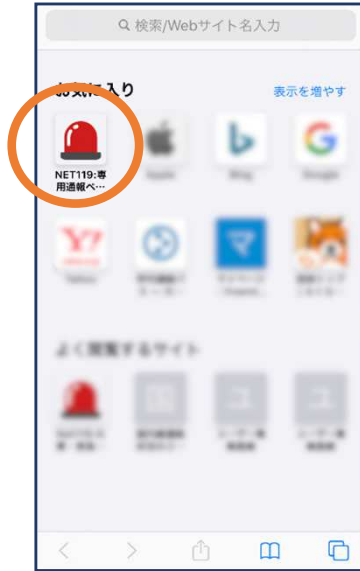
③通報画面が表示されます。

ブックマーク/お気に入りから表示する場合

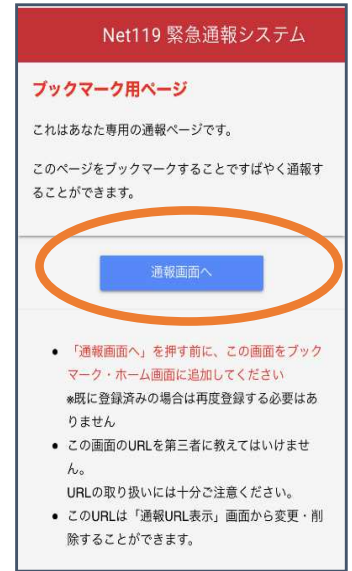
■iOSの場合(お気に入りに登録している場合)



①ホーム画面からSafariを開きます。



②お気に入り欄のアイコンをタップします。



③「通報画面へ」をタップします。



④通報画面が表示されます。



Safariで他のページを開いていた場合、タブアイコンを押します。「+」マークから新しいページを開くと、②のお気に入り画面が表示されます。

■iOSの場合(ブックマークに登録している場合)



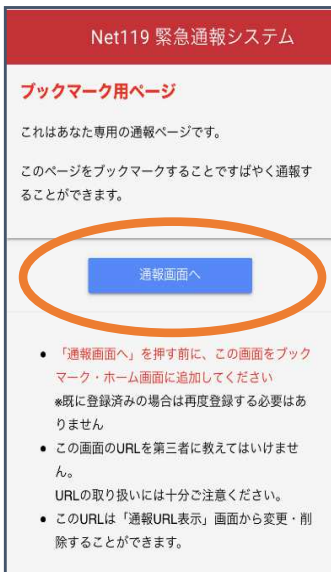
①ホーム画面からSafariを開きます。



②ブックマークのアイコンをタップします。



③ブックマーク一覧から「NET119」のページを選びます。



④「通報画面へ」をタップします。



⑤通報画面が表示されます。

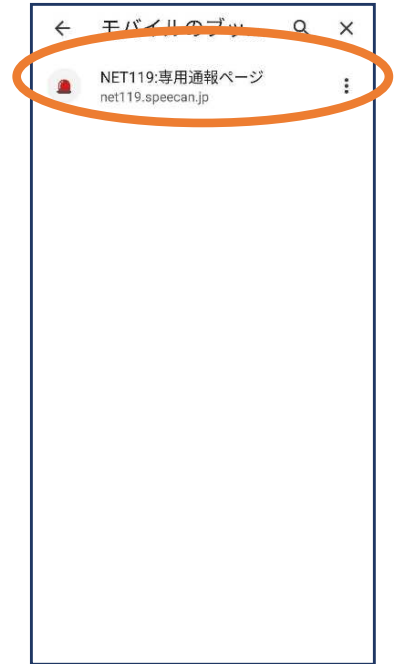
■Androidの場合



①ホーム画面からChromeを開きます。



②右上のメニューバー(☰)を開き、「ブックマーク」を選びます。



③ブックマーク一覧から「NET119」のページを選びます。



④「通報画面へ」をタップします。



⑤通報画面が表示されます。

※位置情報サービスをオンにする方法

位置情報サービスがオンになっていなければ、通報することができません。



位置情報サービスがオフの状態、通報画面から「救急」または「火事」を選択すると、下のようなエラー表示が出ます。
(ご使用の機種によって表示内容が異なります)

[Androidの場合]



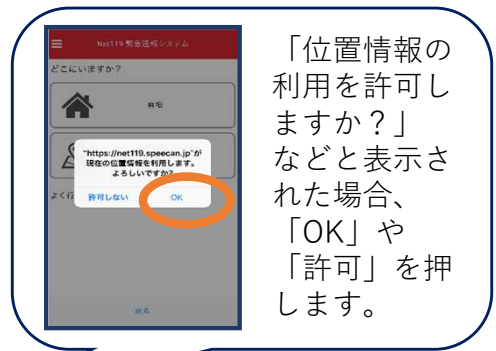
「OK」を押すと自動で位置情報サービスがオンになります。

[iOSの場合]

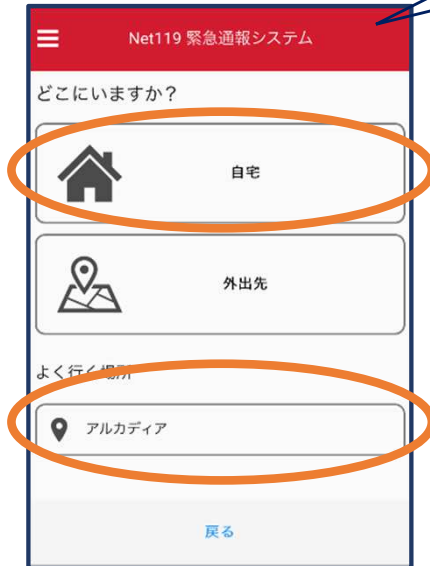


端末の設定で位置情報サービスをオンにする必要があります。
(→p.16)

■ 自宅・よく行く場所からの通報



①「救急」「火事」のいずれかを選択します。



②「自宅」または事前に登録した「よく行く場所」を選択します。



③救護対象者、通報時に伝えたいことを入力します。(任意)



④「通報する」のボタンをタップして通報します。



⑤通報が受理されるまで、呼び出し中の画面が表示されます。

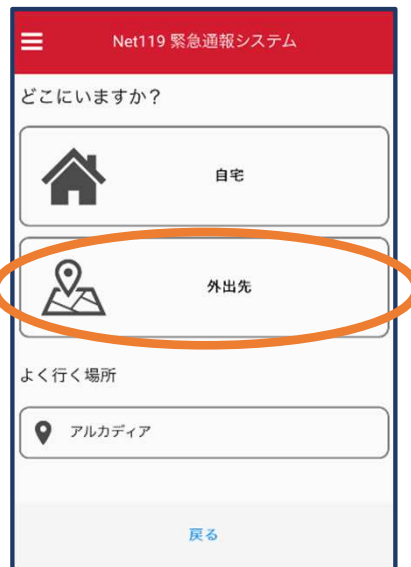


⑥通報が受理されると、チャット画面に切り替わります。

■外出先からの通報



①「救急」「火事」のいずれかを選択します。



②「外出先」を選択します。



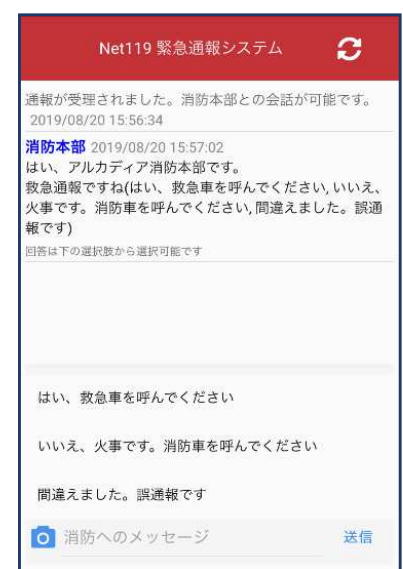
③救護対象者を選択します。位置情報がずれているときは、地図上にタッチして修正できます。



④「通報する」のボタンをタップして通報します。



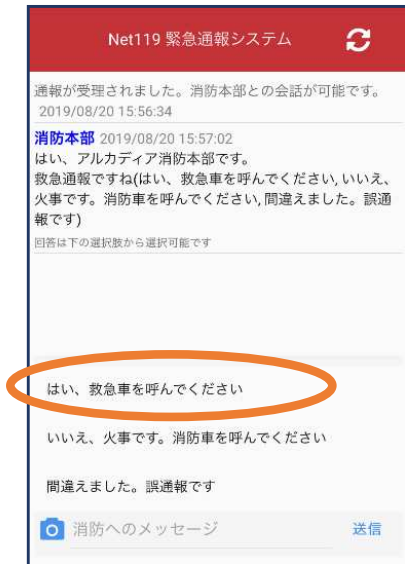
⑤通報が受理されるまで、呼び出し中の画面が表示されます。



⑥通報が受理されると、チャット画面に切り替わります。

②チャット

通報が受け付けられるとチャット画面に切り替わり、文字による双方向の会話ができるようになります。基本的には消防からの質問に通報者が答えるスタイルで会話をを行います。



①通報を受け付けた消防本部から呼びかけが入ります。選択肢がある場合、タッチして回答できます。



②選択した回答が送信されます。



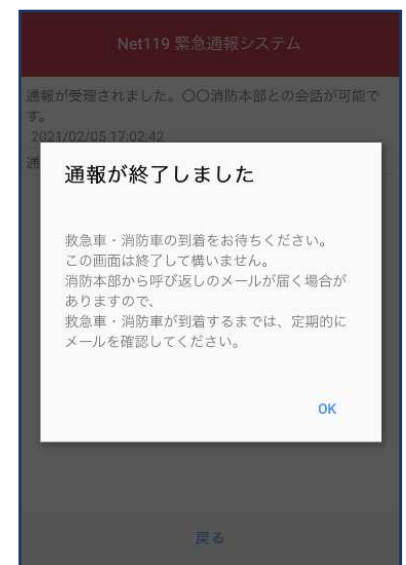
③メッセージを送る場合は画面下部に入力し、送信を押します。



④入力したメッセージが送信されます。



⑤カメラのマークから写真を撮影し、送信することもできます。



⑥「通報が終了しました」というメッセージが表示されたら、チャット終了です。

③代理通報

近くにいる人に、代理通報を頼むこともできます。



①通報画面で「他の人に音声通話をお願いする」を選択します。



②「音声読み上げ」をタッチすると、「わたしは聴覚・言語機能障害のため、電話できません。かわりに119番通報をお願いします」というメッセージが読み上げられます。

4 練習通報

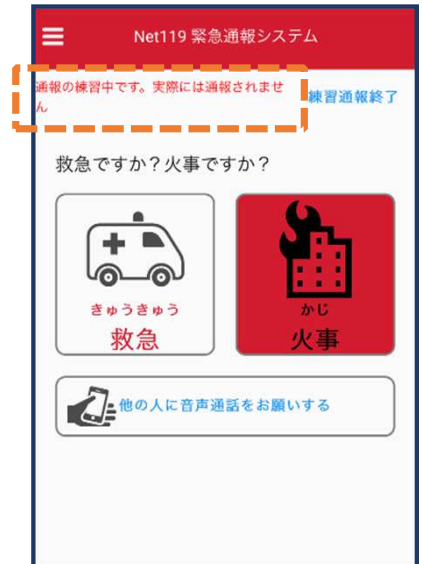
実際に消防本部に通報されない練習通報をすることもできます。通報方法は本番と同じです。



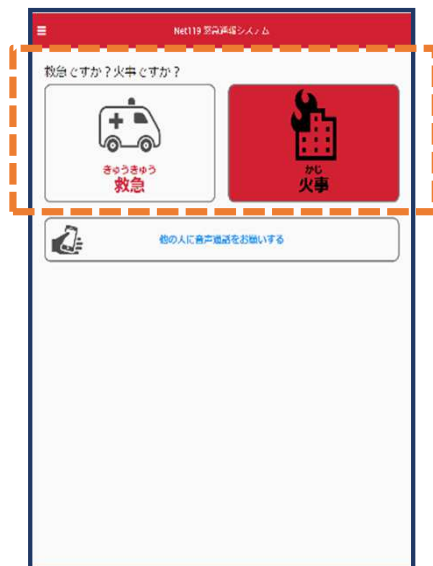
①通報画面左上をタッチし、メニューバーを開きます。



②「通報を練習する」を選択します。



③画面上部に「通報の練習中です。実際には通報されません」と表示されます。



④「救急」「火事」のいずれかを選択します。



⑤通報場所として「自宅」「外出先」または事前に登録した「よく行く場所」のいずれかを選択します。位置情報利用の確認が表示された場合、許可します。



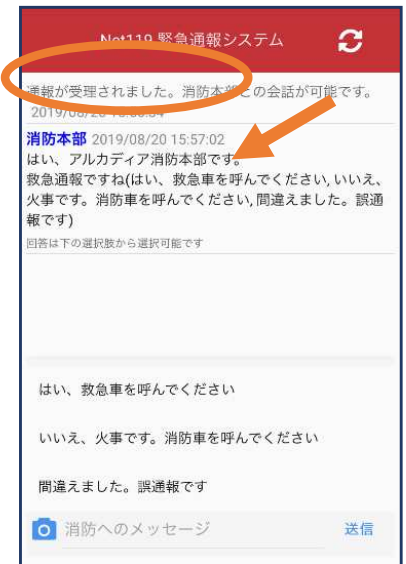
⑥救護対象者や地図の場所が正しく表示されているかを確認します。



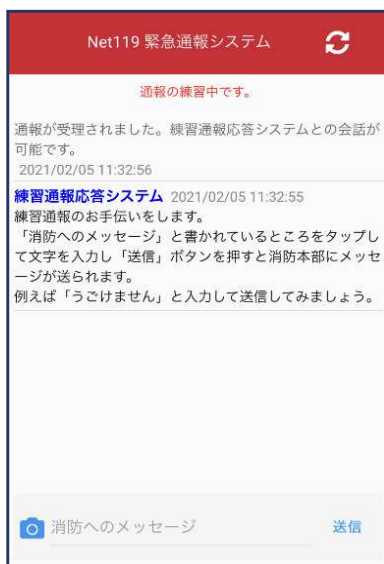
⑦「通報する」のボタンをタップして通報します。



⑧通報が受理されるまで、呼び出し中の画面が表示されます。



⑨通報が受理されると、チャット画面に切り替わります。



⑩チャット画面では、システムが自動で返信します。



⑪本番と同じように、カメラアイコンから写真を送ることもできます。



⑫選択肢がある場合、タップして回答できます。



⑬ 3回やり取りを行うと、「練習通報を終了しますか？」と聞かれます。



⑭ 「はい」を選択すると、練習通報が終了します。「戻る」を押します。



⑮ 本番の通報画面に戻ります。

⑤呼び返し通報

一度通報が終了した後、消防側から呼び返しメールが届くことがあります。



①呼び返しメール内のURLを開きます。



②「呼び返し通報」を押します。



③呼び返し通報が受理されるまで、呼び出し中の画面が表示されます。



④通報が受理されると、通常の通報と同じようにチャット画面に切り替わります。

■iOSの場合の位置情報サービスのオン設定手順

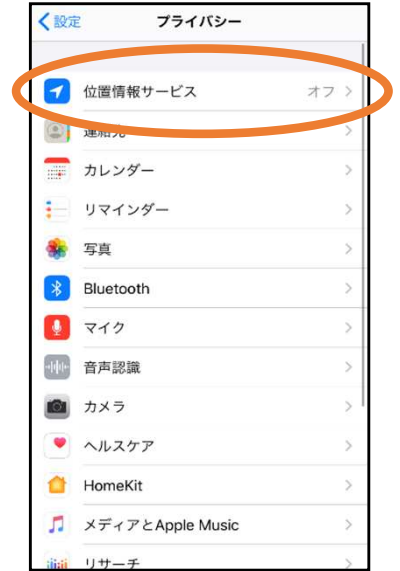
・設定箇所 1



①ホーム画面から設定を開きます。



②「プライバシー」をタップします。



③「位置情報サービス」をタップします。



④「位置情報サービス」の設定をオンに切り替えます。



⑤アプリごとの設定欄で、「SafariのWebサイト」欄をタップします。

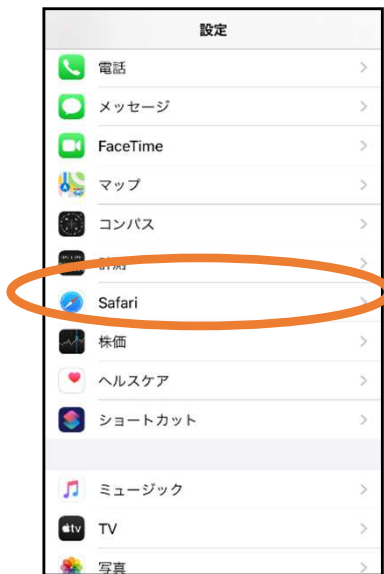


⑥「このAppの使用中的み許可」を選択します。

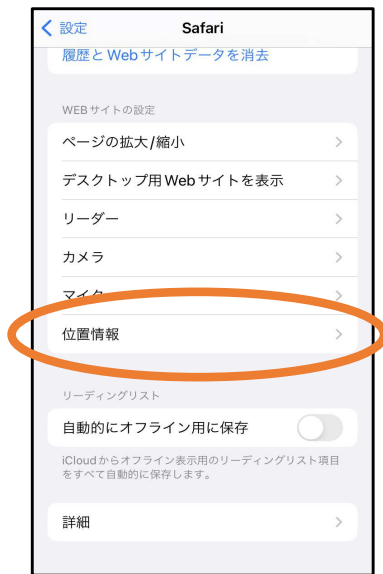
・ 設定箇所 2



①ホーム画面から設定を開きます。



②「Safari」をタップします。



③「位置情報」を選択します。



④「確認」か「許可」を選択します。